神ノ川　伊勢沢

2009/08/02
L 斉藤（記）、河崎
山友会に入会して河崎さんには、岩にアイスにと随分色々な山行を共にして戴いた。しかし、沢へは一度も一緒に行った事がなかった。今回珍しく、河崎さんからの沢への誘いが来た。行き先は以前より行ってみたいと思っていた「伊勢沢」。勿論二つ返事で OK した。去年、志満さんパーティーが伊勢沢を遡行した時に平本さんが撮った写真を何度も眺め遡行意欲がそそられる。出来れば伊勢沢は青空の下での遡行望んでいたのだが。

8/1 夜、出発前に天気予報を確認すると曇り時々雨。本心は晴れて欲しかったが、「晴れると暑いから」などと負け惜しみを言ってみる。林道ゲート近くに張ったテントの中で、雨が降らない事を祈りつつ床に就く。
8/2 朝、出発準備を整えていると、雨が降り出し、見ている間に本降りになる。暫く、止むのを待っていたが、止みそうもないので出発する事にする。林道を 30 分程歩き「曲橋」を越えた所で神ノ川へと下り易い所を探し、川原へと下る。対岸より出合う伊勢沢を確認後、入渓準備を整える。遡行を開始して程なくし F1 が現れる。F1 2 段 8m は左から快適に越える。依然として雨はやまず、時折強い雨に体を濡らされる。続く F2 は左より巻く。流れが右に大きく曲がる所で右岸より三ノ沢、四ノ沢が出合う。そこから少しの間トイ状の流れが続き、所々苔生した場所も出て来て美しい場所だ。同じ丹沢でも南面とは一味違って裏丹沢はいいなぁと思った。F3 を右からトラバース気味に越えると F4 大滝 45m が前方より姿を現す。私がリードさせてもらう事になったので、休憩をしながらルートを考える。水流左のカンテに残置スリングが見えるが、さらに左の凹角が登りやすそうに見えたのでそこから取り付く事にする。ホールドやスタンスはしっかりあるのだが、高さがあるので緊張する。適度にハーケンを打ちながら登るのだが、3 本目のハーケンが中々決まらず、あせってしまう。既に 2 本目のハーケンは足下数 m。覚悟を決めてもう 1 段登り、やっとハーケンを打つ事が出来た。上部のルンゼ状に入ると残置プロテクションを見つけ、ルート上にいる事を確認する。そこから上は泥壁を立ち木と木の根をたよりに少し登り、50m のザイルがいっぱいとなる。つるべで河崎さんに残り少しを登ってもらい、落ち口より少し先の水流へと戻る。小滝の続く中、所々荒れた渓相が目立つようになる。二股を左俣に進むと伏流となる。降り続く雨の中でのガレ歩きとなる。奥の二股を水流の見える右へと進む。それまでガレ歩きをしていたとは思えない綺麗な渓相になる。5m 程の滝がいくつも現れ大変楽しい所だ。雨に追われるように、滝を右から左から次々越えて行く。河崎さんは久しぶりの沢という事だが、さすが、確かな足取りである。水流が途切れ、雨で緩んだ泥の斜面を一登りで登山道へと出た。帰りは川のように泥水の流れる登山道を下る事となった。

行程：7:00 林道ゲート～7:20 曲橋～7:50 伊勢沢出合、入渓～8:45 大滝下～9:50 大滝上～10:25 二股～11:15 登山道～11:25 姫次～13:25 林道ゲート

地図：中川、大室山、大山、青野原